

特集

南予の魅力と その情報発信力

本年は「えひめいやしの南予博2016」が開催されており例年以上に南予に注目が集まっています。

そこで今回は多くの人々に南予の魅力を発見していただくために、「南予の魅力とその情報発信力」というテーマで、南予から地域の情報を発信している団体及び個人などの取組事例、また地域の魅力など、幅広い視点で南予9市町を特集いたします。ひとえに情報発信と言ってもケーブルテレビ、広報紙、SNSなど多様な方法があり、それぞれの特長を活かして各地域から情報を皆さんにお届けしています。また、どうすればより地域の良さが伝わるか、地域資源をどう活かせばよいか日々考えています。情報化社会といわれる現在、多くの情報が簡単に手に入れられる中、広報紙を読む、ケーブルテレビを見するという選択をすることで、地域情報に接し、地元地域を見つめなおすのも良いかもしれませんね。地域の魅力を再発見、再認識することで南予がさらに盛り上がっていかばと思います。

(研究員 河内 勇人)

■表紙のことは

全国で「鬼」の漢字を使う唯一の自治体「鬼北町」にある道の駅「森の三角ぼうし」に昨年降臨した「鬼王丸」。昨今のゆるキャラブームの真逆をいくそのリアルなデザイン。像の高さは約5メートルもあり、先日、立ち寄った際には、その迫力に圧倒されました。

「鬼王丸」に「こっちこいやぁ」と導かれるように店内に入ってみると、鬼から味噌をはじめ、鬼に叶う棒、鬼のおくりものなど、そこかしこに鬼がついてまわります。そんな鬼北町をはじめ南予は個性的で魅力いっぱいです。松山方面からも非常に近く感じられるようになりましたので、「えひめいやしの南予博」で南予の「食」「自然」「文化」を体感してみたいかたがどうでしょうか？

柳原あや子



●アングル

『えひめいやしの南予博2016』と南予の魅力について
尾田 裕明/愛媛県経済労働部 観光交流局観光物産課 担当係長 1

●特集/南予の魅力とその情報発信力

- ①鬼の棲むまち鬼北町
松本 周作/森の三角ぼうし代表取締役 4
- ②小さな町の広報紙、だからできること。
兵頭 裕次/内子町役場総務課 広報・広聴係長 6
- ③今まで通りで今まで以上
國光 歩/愛南リポーターズ代表 8
- ④暮らしていいまち松野町
移住者から見る松野町のいいところ
市毛 友一郎/デザイナー・映像クリエイター メルカドデザイン 10
- ⑤進化し続ける長高水族館、
「夢の長浜水族館」復活も近い！
重松 洋/愛媛県立長浜高等学校水族館部顧問 12
- ⑥あるものを活かしてないものへ育てる
眞田井 良子/NPO法人八幡浜元氣プロジェクト 14
- ⑦ジオパークでまちづくり
高橋 司/西予市企画財務部まちづくり推進課長 16
- ⑧宇和島ハワイアン化計画
鈴木 貴志・美幸/宇和島Hawaiianフェスティバル実行委員会 18
- ⑨情報発信の重要性を伝える役割を担う
大澤 龍太郎/NPO法人佐田岬ツーリズム協会
(伊方町地域おこし協力隊) 20

●特選ブログ/shin 1さんの日記

南予博十連ポスターの波紋
若松 進一/人間牧場主・年輪塾々長 22

●“MY TOWN” うおっちゃんぐ

近代化遺産・豊予をつなぐ通信省平磯水底線陸揚げ室
岡崎 直司/タウンツーリズム講座主宰・近代化遺産活用アドバイザー 24

●まちづくり活動アシスト事業

当センターでは地域づくりのための活動費の一部を助成する「まちづくり活動アシスト事業」を実施しております。

- ①高井神島イルミネーション事業報告
佐伯 真登/元気な島づくり実行委員会 26
- ②津島音頭復活事業報告
兵頭 肇/岩松町並み保存会会長 27

●研究員卒業レポート

自然と共に生きるということ……
センターでの3年間を振り返って
谷川 昭司/愛媛県教育委員会事務局 生涯学習課 28